



# Tebra

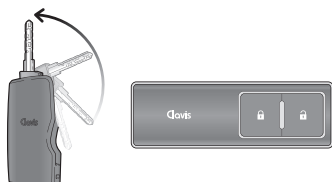
## クイックスタートガイド

### ■電気錠システム

|         |
|---------|
| Tebra-A |
| Tebra-H |

### ■オプション種類

|        |
|--------|
| 操作電源盤  |
| 警備連動機能 |



※ 上表はお客様のご住居に設定されている電池錠システムおよびオプションの種類です。該当する部分のみ、お読みください。

### 保存版

- このたびは当社製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
- 製品を末永く安全にお使いいただくために、WEB取扱説明書「お使いになる前に」をよくお読みいただき、正しく安全にお使いください。

WEBの取扱説明書はこちらをご確認ください。



## 保証書

この度は当社製品をお買い上げ頂きありがとうございます。本保証書は、品質保証事項に記載の規定により、保証期間内に故障した場合は下記取扱店に修理をご依頼下さい。尚、修理の際には本書をご提示下さい。

### 品質保証事項

- 保証内容：通常の取り扱いによって生じる品質不良、性能及び機能の低下によるもので、かつ当社が認定したもの
- 保証期間：製品のお買い上げ日より2年間
  - お買い上げ日を本書にご記入ください。
  - サービス代行店からのお買い上げ日が特定できる書類などを大切に保管してください。サービス代行店からのお買い上げ日が特定できる書類が無い場合は、勝手ではありますが、当社商品に記載している年月を保証開始時期の目安とさせていただきます。
- 免責事項：原因が次の様な場合は保証期間内であっても有償修理となります。また、遠隔地及び離島・山頂等の地域への出張によって修理・交換を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。
  - 商品の提示がない場合
  - ご使用開始以前の保管・輸送・設置配線工事に起因する故障、および損傷
  - 他の機器からの異常電圧・電流を受けたことによる故障、および損傷
  - 電池の入れ間違い等ご使用上の間違いや破損
  - 電池の交換
  - コピーしたキーに起因する不具合
  - 使用者もしくは第三者の誤り、または不当な修理や改造によるもの
  - 本来の使用目的以外の用途に使用された場合の不具合または使用目的と異なる使用方法をされた場合の不具合
  - 錠以外の商品または部品（扉、丁番、ドアクローザなど）に起因する錠の不具合
  - 商品または部品の経年変化（使用に伴う消耗、磨耗など）や経年劣化（樹脂部品の変質、変色など）またはこれらに伴うさび、その他の不具合
  - 錠穴への異物（例えば、針金、マッチ棒など）挿入、注油、昆虫の侵入、ほこりによる不具合
  - 商品周辺の自然環境、住環境などに起因する腐食またはその他の不具合（例えば塩害による腐食、大気中の砂塵、煤塵、各種金属粉、亜硫酸ガス、アンモニア、車の排気ガスなどが付着して起る腐食。異常な高温・低温・多湿による不具合など）
  - 天災その他の不可抗力（例えば、暴風、豪雨、高潮、地震、落雷、津波、噴火、洪水、地盤沈下、火災など）に起因する不具合
  - 犯罪などの不法な行為（ピッキング、パールなどの道具によるこじ開けなど）に起因する破損や不具合
- 電気錠耐用年数：引き渡し後あるいは購入後より7年間
  - 耐用年数とは、製品の基本性能を保守・点検により維持できる取り替えまでの目安の期間として日本ロック工業会が定めたもので、製品の保証（無償修理）期間とは異なります。
  - お買い上げ日を本書にご記入の上、領収書などお買い上げ日が分かる書類を保管ください

上記品質保証は日本国内においてのみ有効です。

This warranty is valid only in Japan

消耗品（電池等）は保証対象外となります。

※ 本書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

保証期間経過後の修理についてご不明な場合は、取扱店へお問合せ下さい。

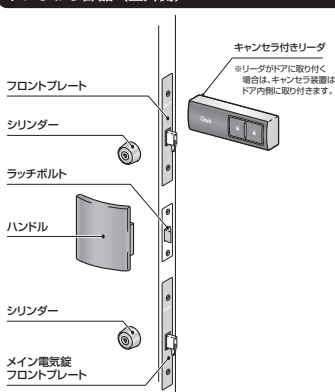
※ 本書は再発行致しませんので、全てご記入のうえ大切に保管して下さい。

|                  |                     |
|------------------|---------------------|
| サービス代行店名・住所・電話番号 | お買い上げ日<br>年 月 日     |
|                  | 保証期間<br>お買い上げ日より2年間 |

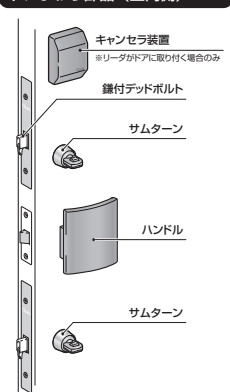
株式会社シブタニ クラビス事業部

## 各部の名称

### ドアまわり部品（室外側）

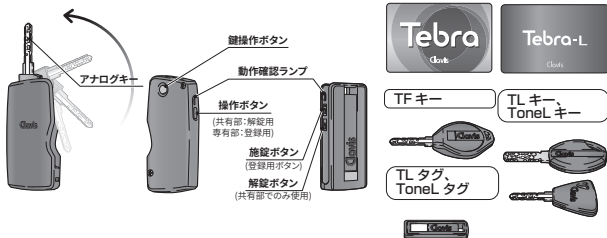


### ドアまわり部品（室内側）



### 認証キー

|                       |        |
|-----------------------|--------|
| ハンズフリーキー              | 非接触キー  |
| Tebra キー、Tebra one キー | TF カード |
| Tebra タグ、Tebra one タグ | TL カード |



### キー※



※：電気的な操作はできません。

## ハンズフリーキーについて

### ハンズフリー操作

ハンズフリーキーがリーダの作動範囲内※にあれば、ハンズフリーキーをカバンなどに入れたままでもリーダの「施錠」/「解錠」ボタンを押すだけで施錠/解錠ができます。

ハンズフリーキーを持ったままリーダの作動範囲内※に入り、リーダの「施錠」または「解錠」ボタンを押します。

- ハンズフリーキーの揺れを検知していないとロックを施錠/解錠することはできません。ロックの施錠/解錠ができないときは、ハンズフリーキーを少し揺らしながらロックを施錠/解錠してください。

※：作動範囲は設置環境によって異なります。



### ハンズフリーキーのスリープ機能

ハンズフリーキーを6秒以上、静止状態で保持すると、電池の消耗を防ぐためにスリープ機能が働きます。

- スリープ機能が働いたハンズフリーキーは、作動範囲内であってもハンズフリー操作ができなくなります。

### スリープ機能の解除

ハンズフリーキーを少し揺らしてください。



### キャンセル機能

室内にあるハンズフリーキーに対して、室外からのハンズフリー操作を無効にし、誤って施錠/解錠されることを防止します。

※：防犯性の高い建物部品として官民合同会議試験に合格している機能です。

### ハンズフリー操作

- ハンズフリーキーを持ったままリーダの作動範囲内に入ります。
- リーダの「施錠」または「解錠」ボタンを押します。

| 動作状況 | ランプ          |
|------|--------------|
| 解錠   | 赤色点灯 (1.5 秒) |
| 施錠   | 緑色点灯 (1.5 秒) |

### タッチ操作

- 非接触キーの認証範囲とリーダの「Clavis」マークを目安に合わせてください。位置がずれ過ぎると認証されず、施錠/解錠ができません。

| 動作状況 | ランプ          |
|------|--------------|
| 解錠   | 赤色点灯 (1.5 秒) |
| 施錠   | 緑色点灯 (1.5 秒) |



## 認証キーの抹消方法

この製品は、複数（※最大16個）のID媒体（認証キー）を登録できます。ご使用前に認証キーの再登録をおすすめします。  
新たに認証キーを追加購入した場合は、登録が必要です。  
※：ただし、ハンズフリーキーおよび非接触キーは、各最大8個までです。

### 認証キーのID情報の抹消

1 以下の物をお手元にご用意ください。

- 今までお使いの認証キー
- 新規に登録したい認証キー

2 ロックを解錠しドアを開けます。

3 ドア下側のメイン電気錠のフロントプレートははずします。

プラスドライバーを使用し、ネジ（M4）ははずします。

4 メイン電気錠設定スイッチを下げたONにし、設定モードにします。

設定モード中はドアを閉めないでください。

- 設定モード中はリーダの「**施錠**」と「**解錠**」が同時に赤色点滅し続けます。
- ドアが閉まった場合は、再度ドアを開け、メイン電気錠設定スイッチをON→OFF→ONにしてください。

5 リーダの「**解錠**」ボタンを2秒以上、長押しします。

“ピッ…ピピッ”とブザーが鳴るまでボタンを押し続けてください。すべてのID情報が抹消されます。（ブザーが鳴る前にボタン操作を中断すると、ID情報が抹消されません）

| 動作状況         | ランプ                 | ブザー    |
|--------------|---------------------|--------|
| ID登録・抹消モード開始 | 施錠と解錠が同時に緑色点灯（0.5秒） | ピッ     |
| 認証全消去        | 施錠と解錠が同時に緑色点灯（1.5秒） | ピッ…ピピッ |

6 メイン電気錠設定スイッチをOFFにし、設定モードを解除します。

7 ドアを開け、ドア下側のメイン電気錠のフロントプレートを取り付けます。（上記参照）

3

## 認証キーの登録方法

### 認証キーのID情報の登録

1 新規に登録したい認証キーをお手元にご用意ください。

2 ロックを解錠し、ドアを開けます。

3 ドア下側のメイン電気錠のフロントプレートははずします。

プラスドライバーを使用し、ネジ（M4）ははずします。

4 メイン電気錠設定スイッチを下げたONにし、設定モードにします。

設定モード中はドアを閉めないでください。

- 設定モード中はリーダの「**施錠**」と「**解錠**」が同時に赤色点滅し続けます。
- ドアが閉まった場合は、再度ドアを開け、メイン電気錠設定スイッチをON→OFF→ONにしてください。

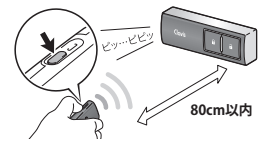
5 認証キーの登録をします。

#### ハンズフリーキー（登録可能IDキー数：最大8個）

Tebra-Aの場合は、最初にハンズフリーキーに内蔵されたICチップを、非接触キーと同様の方法（下記参照）で登録・動作確認を行ってください。リーダの登録検知範囲内（約80cm以内）で、登録するハンズフリーキーの「**施錠**」ボタンを押し続けます。

“ピッ…ピピッ”とブザーが鳴るまでハンズフリーキーを登録検知範囲外に出さないでください。

「**施錠**」ボタンを押ししたハンズフリーキーのみ登録されます。（ブザーが鳴る前にハンズフリーキーを登録検知範囲外に持ち出すと、認証されません）



#### 非接触キー（登録可能IDキー数：最大8個）

リーダの「**Clavis**」マークに、登録する非接触キーを2秒以上、かざし続けます。

“ピピッ…ピピッ”とブザーが鳴るまで非接触キーを「**Clavis**」マークから約1cm以上、離さないでください。

かざした非接触キーのみ登録されます。（ブザーが鳴る前に非接触キーを「**Clavis**」マークから離すと、認証されません）



4

## ハンズフリーキーの電池交換／カラーチップの取り付け

キーの判別のため、購入した際に付属のカラーチップを取り付けてください。（Tebraキー／Tebra oneキーのみ）  
電池が消耗すると、電池切れ警告が現れます。その場合は速やかに電池を交換してください。

使用電池：コイン型リチウム電池 CR2032

電池はカメラ店、家電販売店などでお買い求めになります。

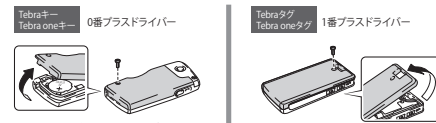
### 電池交換のしかた

取りはずした部品の紛失、破損に注意しながら行ってください。

1 一度ドアノブなどの金属物を触って、体内の静電気を逃がします。

2 表面のネジを取りはずし、カバーを取りはずします。

ドライバーはホームセンターなどでお買い求めになります。



3 ドライバーなどをすき間に差し込み、起こすようにして古い電池を取りはずします。



4 新しい電池を差し入れ、動作確認をします。

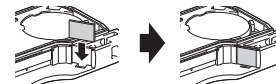
(+) 上になるように取り付けます。



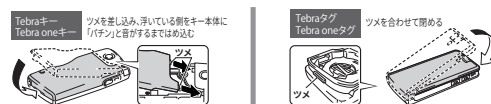
5 お好きな色の付属のカラーチップを台紙から取りはずし、スライドしてはめ込みます。

（Tebraキー／Tebra oneキーのみ）

カラーチップの印刷面をこすると、印刷がはがれる恐れがあります。ご注意ください。



6 カバーを元にもどし、ネジを締め込みます。



|          | 動作状況             | ランプ                     | ブザー      |
|----------|------------------|-------------------------|----------|
| リーダ      | ID登録・抹消モード開始     | 施錠と解錠が同時に緑色点灯（0.5秒）     | ピッ       |
|          | ハンズフリーキー認証時      | 施錠と解錠が同時に緑色点灯（1.5秒）     | ピッ…ピピッ   |
|          | 非接触キー 認証時        | 施錠と解錠が同時に緑色点灯（1.5秒）     | ピピッ…ピピッ  |
|          | 認証異常             | 施錠と解錠が同時に3回、赤色点滅        | ピー（1.5秒） |
| ハンズフリーキー | 登録件数エラー（8個登録済）   | 施錠と解錠が同時に3回、赤色・緑色を交互に点滅 | ピー（2秒）   |
|          | 認証時              | 動作確認ランプが緑色点灯（0.5秒）      | —        |
|          | 認証時（ハンズフリーキー電池少） | 動作確認ランプが赤色点灯（0.5秒）      | —        |

6 すべての認証キーに対して 5 の操作を行います。

ロック解除かつドアを開けた状態で、すべてのハンズフリーキーおよび非接触キーの登録を完了させてください。

7 メイン電気錠設定スイッチをOFFにし、設定モードを解除します。

8 ID情報を登録したすべての認証キーで施錠／解錠操作を行い、正常に動作することを確認します。

9 確認後ドアを開け、ドア下側のメイン電気錠フロントプレートを取り付けます。

### エントランスも認証キーで開閉できる物件にお住まいのお客様へ

認証キーの再登録を行った場合、エントランスなど共用部制御盤に登録されている情報も更新が必要となる場合があります。

（エントランス用制御盤への再登録は、弊社サービス代行店までご連絡ください。）

5

6